

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
330001	X-21-B-2-330001	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
ロシア史概説	アレクサンドル プ ラーソル			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

このコースの目的は、ロシア人の直接の先祖である東スラブ部族の結成時代から1917年の社会主義革命までのロシア史においてもっとも重要な出来事、社会の動きとその意義について考えながら、ロシア史の重要点を紹介することである。ロシア社会の歴史的発展に自分の名を残した皇帝や為政者や大将などの活躍について考察していきたいと思う。

各回の授業内容

第1回 【授】 建国時代 キエフ・ルーシ 【前・後】 予習復習1時間 第2回 【授】 分裂時代とモンゴル支配 【前・後】 予習復習1時間 第3回 【授】 モスクワ公国の台頭 【前・後】 予習復習1時間 第4回 【授】 イワン雷帝の恐怖時代 【前・後】 予習復習1時間 第5回 【授】 動乱時代とロマノフ王朝の成立 【前・後】 予習復習4時間 第6回 【授】 ビョートル大帝 「玉座のうえの革命家」 【前・後】 予習復習1時間 第7回 【授】 ビョートルが作った都（ビデオ教材） 【前・後】 レポート提出（作成2時間・予習2時間） 第8回 【授】 女帝時代・宮廷クダター時代 【前・後】 予習復習1時間	第9回 【授】 エカテリーナ2世の統治 【前・後】 予習復習1時間 第10回 【授】 エカテリナ時代の日露交流（ビデオ教材） 【前・後】 レポート提出（作成2時間・予習2時間） 第11回 【授】 アレクサンドル1世とナポレオン戦争 【前・後】 予習復習1時間 第12回 【授】 ニコライ1世時代の「社会安定性」 【前・後】 予習復習1時間 第13回 【授】 アレクサンドル2世の大改革 【前・後】 予習復習1時間 第14回 【授】 アレクサンドル3世の統治と経済成長 【前・後】 予習復習4時間 第15回 【授】 20世紀初頭・革命時代（講義 + ビデオ教材） 【前・後】 予習復習1時間 第16回 【授】 期末テスト 【前・後】 テストの準備4時間
---	--

成績評価方法

期末試験の点数(60%)、課題(20%)、授業参加態度(20%)を合わせて総合的に評価する。

教科書・参考書

ピエール・パスカール著 ロシア史 白水社

受講に当たっての留意事項

学期末に筆記試験を行う。合格するには66%以上の出席率と2回のレポート提出が必要である。毎回資料を配布する。授業を休んだ生徒は自己の責任で資料をそろえること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		×

学習到達目標

高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協動的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習